

10月14日（日）大会第2日 研究発表・パネルセッション一覧

第一部会 (農学部B棟304教室)		第二部会 (農学部B棟204教室)		第三部会 (農学部B棟201教室)	
10:00	9世紀日本における 「鎮国家」と「護国家」 佐藤 文子 (佛教大学)	明治期の漢学改革論について	水野 博太 (東京大学・院)	『政治教育講座』における 水野錬太郎の政治思想	西田 彰一 (日本学術振興会 特別研究員 (PD))
10:30	寛永二十年の 「新古之御改」をめぐって —徳島敬台寺を中心に— 長倉 信祐 (富士学林)	徳富蘇峰の身代わりとしての 福沢諭吉	平山 洋 (静岡県立大学)	「東洋的専制主義」概念の形成史 —昭和前期の議論を中心に—	周 雨霏 (大阪大学)
11:00	侍の士道論 —『武教全書』の系譜から 中嶋 英介 (西安外国語大学)	〈両輪〉としての徳育と知育 —教育勅語成立前後の帝国大学—	佐々木 隼相 (東北大学・院)	転向者の浄土真宗信仰 —1930年代後半期の 京阪地方を中心に—	佐々木 政文 (東京大学・院)
11:30	本居宣長の孔子観と 『古事記』序文解釈 河合 一樹 (筑波大学・院)	近代女子教育思想における 国家主義と個人本位の傾向 —下田歌子と津田梅子を 中心として—	孫 東芳 (関西大学・院)	帝国日本の統治技術 —東郷実「民族心理(学)」小考	佐藤 太久磨 (漢陽大学)
12:00	昼食				
13:30	江戸時代における 古方派医学思想の再考 向 静静 (立命館大学・院)	アジア主義と世界主義 —沢柳政太郎の日華共存論を 中心に—	楽 星 (東北大学・院)	思想史と概念史 —「内なる近代化」研究の 視座から—	和崎 光太郎 (京都市 学校歴史博物館)
14:00	幕末梁川星巖における 陽明学の受容 陳 慧慧 (関西大学・院)	田中王堂と「近世文明」	山田 大生 (学習院大学・院)	丸山眞男と竹山道雄 —高体験と戦後の転換	福崎 大祐 (熊本大学・院)
14:30	「敗者」側の功績と精神を 後世に伝える —拙編『平山省齋と岩瀬忠震』の 狙い— 陶 徳民 (関西大学)	近代日本の「批評」を問い直す —大西祝と戸坂潤	郭 馳洋 (東京大学・院)	戦後思想としての大衆文化論 —鶴見俊輔と佐藤忠男	花田 史彦 (京都大学)
15:00	休憩		休憩		山崎豊子への新しいアプローチ —「戦争三部作」を中心に 李 瑞華 (関西大学・院)
15:30	<b>【パネルセッション】</b> 対外意識と王権論の転回 —近世思想史の新しい 「様式」を目指して 井上 泰至 (防衛大学校) 大川 真 (中央大学) コメント： 濱野 靖一郎 (海陽中等教育学校) 山本 嘉孝 (大阪大学)	<b>【パネルセッション】</b> 日本思想史としての神仏分離・ 廃仏毀釈 オリオン・クラウタウ (東北大学) 林 淳 (愛知学院大学) 池田 智文 (ノートルダム女学院 中学高等学校) コメント：桐原 健真 (金城学院大学)	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>B棟202・203教室：会員休憩室</p> <p>B棟301教室：書籍販売等</p> </div>		
17:00					

\*所属の後の「院」は大学院生であることを示す。